

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	L S J 竹の塚		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育に特に力を入れており、体を動かす活動を通して子どもたちの体幹やバランス感覚、基礎的な運動能力の向上を図っている。また、運動活動だけでなく机上活動とも連携させながら療育を行うことで、集中力や認知面、手先の操作性などの発達を促し、子ども一人ひとりの成長につながる支援を行っている。	運動療育の内容について職員間で共有を行い、子ども一人ひとりの発達段階や特性に合わせた活動を取り入れている。また、運動活動だけでなく机上活動と組み合わせることで、身体面だけでなく認知面や集中力、手先の操作性の向上にもつながるよう支援を行っている。	運動療育と机上活動をバランスよく取り入れながら、子ども一人ひとりの発達段階に応じた支援内容の充実を図る。また、職員間での情報共有や支援内容の振り返りを行い、より効果的な療育につなげる。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や地域との交流の機会が少ない。	日々の療育や送迎業務が中心となり、保護者同士や地域との交流の機会を設ける時間や場が限られていることが要因と考えられる。	行事やイベントなどを通して保護者同士や地域との交流の機会を少しずつ増やし、事業所の活動内容を知っていただく機会を設けていく。
2	地域や利用児が通う園(保育園・幼稚園等)との連携の機会が少ない。	事業所内での療育活動が中心となっており、地域の関係機関や利用児が通う園との情報共有や連携を図る機会が限られていることが要因と考えられる。	必要に応じて園や関係機関との情報共有や連携を図りながら、子どもの生活全体を踏まえた支援につなげていく。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	L S J 竹の塚		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育に力を入れており、基礎的な運動やトランポリン等の器具を用いた活動を通して、体幹やバランス感覚を養いながら、身体の使い方を学ぶ運動療育を行っている。	毎月外部講師を招き、運動療育に関する研修を実施することで、職員の専門性の向上と支援内容の充実に努めている。	研修で得た知識や技術を職員間で共有し、日々の療育活動に活かしながら運動療育の質の向上を図っていく。
2	運動療育だけでなく机上活動とも連携を行いながら、子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行っている。	運動活動と机上活動を組み合わせることで、身体面だけでなく集中力や認知面、手先の操作性などの発達にもつながるよう支援を行っている。	子ども一人ひとりの特性や課題を踏まえながら、活動内容の工夫や職員間での情報共有を行い、支援内容の充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に向けた情報発信の機会が十分とは言えない。	SNS (Instagram) 等を活用した情報発信は行っているものの、保護者への周知や活用が十分に行えておらず、事業所の活動内容が十分に伝わっていないことが要因と考えられる。	SNSやおたより等を活用しながら事業所での活動内容を積極的に発信し、保護者に分かりやすく伝える機会を増やしていく。
2	保護者同士が交流する機会が少ない。	日々の利用は送迎や短時間での関わりが中心となっており、保護者同士が交流できる機会を設けることが少ないことが要因と考えられる。	行事やイベントなどの機会を活用しながら、保護者同士が交流できる場づくりについて検討していく。
3	地域や関係機関との連携の機会が少ない。	事業所内での療育活動が中心となり、地域や関係機関との情報共有や連携を図る機会が限られていることが要因と考えられる。	